

## 中学・高校生に職業体験を実施



天幕構築体験の様子

神奈川県地方協力本部横浜出張所（所長 林一陸尉）は、2月15日（土）に武相中学・高等学校（以下、武相高校）（横浜市）の生徒15名に対し、進路説明会の一環として職業体験を行った。

本企画は、武相高校が校内に様々な職業・専門学校等を引き、進路説明や職業体験を通じ、生徒たちの将来の動機付けに役立てようという企画したものである。

当日は、天候にも恵まれ武相高校校庭にて基本教練と宿営用天幕構築体験を実施した。

生徒からは、「とても貴重な体験ができ、自衛隊の仕事についてもっと知りたくなった」との声も多く聞かれた。また、生徒の母親達も来ており、「自衛隊は頼りになる、将来息子に自衛隊に入ってもらいたい」などの声も聞かれた。

横浜出張所は、「今後も機会をとらえて説明会や職業体験を実施し、自衛隊の仕事に対する理解を深めていきたい」としている。

## 武相高校で出前授業



授業の様子

神奈川県地方協力本部横浜出張所（所長 林一陸尉）は2月21日（金）、武相中学・高等学校（以下、武相高校）において防衛大学校電子工学科森武洋教授を講師に招き出前授業を実施した。

本企画は、武相高校が様々な大学から講師を招き、学校名を伏せて授業テーマのみを公表し、生徒たちへ受けたい授業を選択させる方式で行われた。

当日は、「液晶ディスプレイと省エネルギー化」というテーマに22名の生徒が集まった。いざ授業が始まると、講師が防衛大学校の教授と知って驚く生徒もいた。講義の内容は専門的な話が多かったが、熱心にノートをとる姿も見られた。

横浜出張所は「今後も各学校との関係を密にして、防衛大学校及び自衛隊の魅力を伝え、募集成果につなげていきたい」としている。

## 総合的な学習の時間を支援



神奈川県地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、令和2年2月25日（火）、小田原市に所在する白山中学校が実施する総合的な学習の時間を支援した。

総合的な学習の時間は、変化の激しい社会に対応して、自ら学び自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題解決する資質や能力を育てることなどをねらいとしたものである。

今回、白山中学校1年生4名に対し、地域事務所において自衛隊の任務、役割について説明した。

学習終了後、生徒からは「自衛隊の活動状況や役割について理解することができました」「次回は、部隊見学してみたい」など様々な感想が聞かれた。

小田原地域事務所は、「今後もこのような機会を通じて多くの学生に対して、自衛隊の役割や活動状況を自衛官との交流を通じて自衛隊の魅力を伝えたい」としている。